

GREYHOUND RACING SEATS MAKES THE DIFFERENCE

GreyHound(グレイハウンド)社 訪問記

2017年8月末にイタリア中部のペスカーラという町にあるレーシングシート製造メーカーの GreyHound(グレイハウンド)社を訪問しました。ここペスカーラはローマから車で東に約2時間。アドリア海に面した風光明媚な都市で、元 F1 ドライバーのヤルノ・トゥルーリ選手もこの町出身です。またここペスカーラには GreyHound 社以外にも何故かシート製造メーカーが点在しており、カート業界で活躍するドライバーやメカニックも多く住む町でもあります。



社長のアレックス・スフェレッタさんと

夏のバカンスが終わって直ぐとあつてか、バックオーダーがかなり溜まり多忙極まるなか、笑顔で迎えてくれたのは社長のアレックス・スフェレッタさん。彼もこのペスカーラ出身で10歳の頃からカートに乗っており、お世辞ではなく一流ドライバーでした。かのジェイソン・バトン選手も従えてイタリア選手権に優勝するなど戦歴も豊富。20代後半の頃からは、それまでの経験を活かしレーシングチームの運

営に乗り出します。ロレンツツオ・カンプレーゼ選手を擁し、数々のタイトルを獲得すると共に、レーシングカートにとってとても大事なパーツの一部であるシートの製造に乗り出します。試行錯誤する事約2年。ついに最良のシート作りをする技術と材料を手にし2013年に満を持して Greyhound 社を設立しました。現在では、INTREPIDをはじめ多くのカート製造メーカーからも純正シート指定を受けるまでに成長しています。

↓ プロドライバーのカンプレーゼ選手を擁する自社チーム。シート開発にも大いに貢献している。



↑ J・バトン選手を従え勝利するアレックスサンドロさん。

エンジン O/H も自ラ行ウ ↑



普段、レーシングカート製造メーカーやパーツ製造の現場は良く出入りする私ですが、さすがにシート製造メーカーは初めて…。興味深々でシートの製造の仕方や材料の事、様々な疑問をぶつけてみました。

Q1. 1日にシートってどれ位作れるの？

A.
ウチのシート製造能力は平均 1 日に約50 個、そして その他関連商品が数十個ほど。シートだけを製造すれば、1日に80個近く製造することは出来るかな。実はもっと利益を上げる方法はあって、例えばシートの生地になる布の様なものにハサミを入れる事なんだ。そうすると、湾曲部分の造型を短時間で終わらせる事が出来るから製造能力は倍以上になる。実は後で説明しようと思っていたけど、シートには FRP 素材と織り込む生地と形状の3



点がどれも欠かす事が出来ない大事なポイントなんだ。生地にはサミを入れるとその生地の部分の性能が損なわれる。もちろん見かけもカットせずに一枚物がカッコいいと言うのもあって、こだわっているし、技術力のアピールポイントだよ!



↑ 一枚生地で作られる美しい造形。

Q2.

シートってどうやって作るの?

A.

幾つか企業秘密があるから詳しくは言えないけど、この赤いシートがいわゆる型枠。シートを作るためここには100近くの型枠がある。実はシートの製造よりこの型枠作りにももの凄くポイントがあるけど、もちろんシークレット。今、この型枠置き場にはない型枠は実際に製造場で使ってる。だから実際にはここに置いてある何倍もの型枠があるんだよ。

そしてモチロン手作業で生地をのっけて素材を流し込み丁寧に整形したら、空気を抜く機械の中へ、ここからさらに余分な部分のカットや乾燥と作業が続くんだけど、その日の気候の変化などで、シートにエアが混入したり 曇った様になったりと気が抜けない作業が続くんだ。



シート以外にもヘルメットディフューザーやチェーンカバーなどの製造もおこなっている。 ↓



↑ 型枠置き場にある無数の型枠。ここにある数倍の型枠が製造過程で使用されている。

↓詳しい作業工程は秘密でしたが職人さんが一枚一枚丁寧に造形していました。



造形後、空気を抜く機械を通し、乾燥室へ↑



↑乾燥を終えたシートははみ出たミミをカットする。カットもシートの硬さを左右する大変重要な作業。



Q3.

シートで性能が変わるのはイメージしやすいけど、中に織り込んである布の様な生地を変えるだけでも、性能や動きって変わるの？

A. シートの中の生地素材が違っても同じ形状で作っても運動性能は全く違うね。この素材を見つけるネットワークと言うのはシート製造会社にとって非常に重要なポイントで、例えばこの生地なんかはオーストラリアから取り寄せてるよ。何か気になる素材があれば 直ぐに取り寄せてプロタイプを作って、ここから 5Km の所にあるサーキットで速攻でテストさ!! でも、商品になるのは本当に僅かだよ…イタリア国内の大学にはコネクションを持って新しい素材なんかがあると連絡をもらってるよ。日本にも良さそうな素材があったら教えてね!

↓シート製造に使う生地。世界中から取り寄せ、新素材も積極的にテストを行っている。



Q4.

レーシングチームを持つてるのはなんで？

A.

君と同じでカートの世界で育って好きだからって言うのと、新しいシートを作ったりした時に直ぐにテスト出来る事、そして常に変化するカートのトレンドを逃さないようにだよ。でも、基本はカートが好きだから。エンジンルームもあって僕がオーバーホールするんだよ。機械は古いけど、長年の愛用品だよ。シート製作部門は腕の良い職人が5人もいるから、僕は社長として品質管理やマネージメントをしながらレーシングチームのシャーシメンテからエンジンメンテまで毎日カートどっぷりの仕事をしているんだ。

↓マカオにヨーロッパ選手権など、カンプレーゼ選手と共に獲得したトロフィーが並んでいます。



今回のイタリア GreyHound 社訪問では各国からオーダー溜まるバカンス明けの多忙な中、数時間にわたり私の質問や意見に耳を傾けてくれました。GreyHound 社から10分位の所にあるサーキットにも連れて行ってもらい、テストの方法や製造の過程まで、ワークスドライバーのカンプレーゼ選手まで呼んでレクチャーをして頂きました。この GreyHound 社はイタリアにありながら、どこか日本的でレスポンスもはやくクオリティも一級品です。皆様に手に取って頂いても必ずご満足いただける商品であると思います。最後にみんなで会社の近くにあるおススメのジェラート屋さん。次回また訪れることを約束してペスカーラ地方を後にしました。



Grazie GreyHound !!

GREYHOUND RACING SEATS
MAKES THE DIFFERENCE

INTREPID
JAPAN

GreyHound 国内総代理店
株式会社 INTREPID JAPAN
福岡県福岡市西区飯氏 648-4
Tel 092-806-1613 FAX092-806-1623

